

大漁祈る切り子飾り、竜神の怒り鎮める絵馬…

南三陸 文



伝承切り紙の変遷などを紹介した南三陸研究会

東北大災害科学国際研究所の川島秀一教授（文学）は、三陸地方の神社に奉納される「うせ物絵馬」を解説した。海を守る竜神の怒り

から伝わる伝承切り紙の変遷を紹介。「何度も天変地異に見舞われた三陸で、お供え物に見立てた餅や大漁を祈つたタイの切り子が根付いた」と説明した。

史書が失われる地域では、人同士で伝承していくことが必要だ。生存基盤として息づいていた文化を次世代につなげたい」と話した。

震災でコミュニティー分散 語り合いの場設け次世代へ



気仙沼市の唐桑半島ビジターセンターにある「御崎こどもの広場」に、県共同募金会から遊具一式が贈られた。県観光PRキャラクター「むすび丸」ピンバッジの売り上げなどによる助成417万6900円を活用し、ブランコやジャングルジムを整備した。

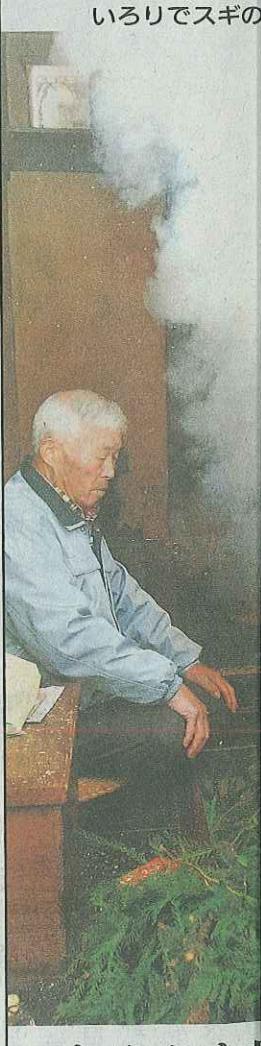
ロープウェーにつかまって滑走する子どもたち

県共同募金会 気仙沼・唐桑に寄贈

地元の中井小の児童を代表して6年江畑聖蘭さん（12）が「遊具ができるうれしい。たくさんのおもちゃに遊びに来てほしい」とお礼を述べた。子どもたちは早速、ロープウェーで滑走したりブランコをこいだりした。

ピンバッジ募金による遊具整備には本年度、2014年度に集まつた1063万円を充て、唐桑地区のほか、石巻市牡鹿地区に500万円、女川町に80万円が助成された。

「むすび丸」ピンバッジ売り上げなど417万円活用



絵札目指してダッシュ！

塩釜・杉村惇美術館 かるた大会

塩釜市杉村惇美術館で9日 巨大かる



かやぶき